



珍しい七角の絵馬



小物入れに使える筒のおみくじ



「錦織神社」



珍しい金色の御朱印

23代宮司
稲山光鑑さん
國學院大と相模工業大(現湘南工大)卒。在学中はヨット部に所属。神奈川県の出先機関で商店街活性化などに従事後、「大稲荷神社」「錦織神社」の宮司に就任。



天 正年間の1582年に創建された『大稲荷(だいなり)神社』は、御朱印で注目度を高めている神社だ。稲山光鑑(あきやまみつなり) 23代宮司が世界のプロテニス界で活躍する錦織選手の健闘を讃え、境内社『錦織神社』の御朱印の色を金色に変えたところ、御朱印ガールなどの間で評判になり、御朱印ランキングで全国11位に浮上、スポーツの成績向上などの願掛けに詣でる人たちが後を絶たない。

稲山宮司は、「大稲荷神社」「錦織神社」のほか、境内社の『田中稲荷社』『愛宕神社』の4社の御朱印を精魂を込めて筆で書く。金色の御朱印の人気で御朱印に対する関心が高まったことを喜びつつ、スタンプラリーのように集めるだけでなく、御朱印本来の本義に思いを馳せて欲しいと願う。

「御朱印を頂くと言うのは、神様や仏様との絆が結ばれたことを意味します。元々は、自分で書いたお経を納め、その証として授与されるものでしたが、簡略化されて納経をしなくても頂けるようになったのです。様々な神社を訪れることは悪いことではありませんが、最低限、参拝し、神社の歴史などを知り、最後に御朱印を頂くよう心掛けていただきたいと思います」

神社の4百年超の歴史を担う宮司の深い想いが御朱印帳に刻まれる。

(ライター/斎藤 紘)



三猿レリーフので知られる木造彫刻



境内社「錦織神社」の御朱印を黄色に変え、全国的に注目度を高めた宮司が、御朱印の本義に立ち返って参拝するよう促す。

御朱印の本義に 思いを馳せ、参拝を 金色の御朱印に精魂込める宮司の想い



大稲荷神社

☎ 0465-34-7630
📍 神奈川県小田原市城山1-22-1
<http://dainarijinija.com/>